

令和3年度 第1回高知市子ども・子育て支援会議（書面開催）議事録

令和3年度 第1回高知市子ども・子育て支援会議はコロナウィルス感染拡大防止の観点より、書面での開催となりました。このため、各委員から提出のあった意見書を集約し本会議の議事録として作成しました。（令和4年2月28日開催）

議 事

【議事1】 子ども・子育て支援会議の運用要領の改正（書面会議及びWEB会議の開催運用について）

子ども・子育て支援会議の運営に関する事項については、子ども・子育て支援会議条例第8条により、会長が支援会議に諮ることとなっている。

子ども・子育て支援会議の開催方法としては、委員同士の意見交換により、会議体として議題に対して議決を行うことを最良とする。しかしながら、感染症の拡大や自然災害等により長期に委員の参集が困難な場合を想定し、やむを得ない場合に限り、書面開催を実施することを可能とするもの。

また、同時に会議へのリモート出席についても可能とするもの。

採決等

全員賛成により承認

[委員意見詳細]

議事に対する意見等	質問に対する事務局の回答や補足
子ども・子育て支援に係る協議を確実に進めていくためには、書面会議やWEB会議は必要であると考えます。	

【議事1】 子ども・子育て支援会議の運用要領の改正

議事に対する意見等	質問に対する事務局の回答や補足
<p>今後も新型コロナウイルス感染拡大等の不測の事態等で、参集での会議が難しい時、開催できるのが良いと思います。</p>	
<p>書面開催・WEB開催を定めることに異論はありません。 ただし、第6条の記載内容について、 会長が・・・WEB会議の開催が必要と認めるときは・・・出席することができる。となっています。 WEB会議で開催するケースを推測すると、書面での議決ができない場合で、かつ委員が参集できない場合に会長がWEB会議の開催を認める、といった理解で良いかとも思いますが、もう一步踏み込んで、委員が会場での会議に出席できない場合（結果欠席となる）で、委員からWEBでの出席の希望があった場合で会長が認めた場合は、WEBでの出席を認める。と委員の都合でいつでも利用できるようなほうが、欠席よりいいのではないかと思います。 WEB会議も一般的になってきていますので、委員の選択制でも良いように思います。（事務局は準備が大変かもしれませんが。）</p>	<p>【子育て給付課補足】 今回の運営要領の改正では、一部委員のみがリモートで会議参加することも想定しております。 子ども・子育て支援会議では様々な立場の方から多様なご意見を頂戴することが重要であると考えております。このため会議資料等の共有に支障がない場合で、より多くの委員の皆様にご参加いただけるよう、リモートでの出席の選択肢も確保してきたいと考えております。</p>
<p>新型コロナウイルスの感染の状況によって大きな影響を受ける施策が多いと思われませんが、支援を必要とする子どもへの支援が薄くなったり、途切れることは将来にも関わることです。今できること、どうすればできるか工夫することが重要だと思います。</p>	
<p>ZOOM会議や書面決議で問題ございません。 私の勉強不足も有り大変恐縮ですが、書面決議の場合は、会議で説明する用のいつもの資料ではなく、書面決議用のわかりやすい資料にして頂くと大変ありがたいです。</p>	<p>【子育て給付課】 今回、従来の対面を想定した資料をそのまま使用したために、わかりにくい部分が生じてしまい申し訳ありませんでした。今後、対面開催を実施する場合には、可能な限り資料の見直しや補足いたします。</p>

【議事1】 子ども・子育て支援会議の運用要領の改正

議事に対する意見等	質問に対する事務局の回答や補足
<p>コロナ禍では会議を開くのも難しくなっているので必要な運用だと思います。</p> <p>WEB会議では各委員が対応できるとは限らないのでどのように対応していくか検討して欲しいと思います。</p> <p>書面の場合、近年の郵便対応を確認の上、”〇〇日着”ではなく、”〇〇日までに投函”のほうが着日が確実だと思います。</p>	<p>【子育て給付課】</p> <p>全員がリモートで出席するWEB会議を開催することになった場合は、必要に応じて事務局からのサポートの準備も必要であると考えております。</p> <p>文書の提出期日についてですが、採決の日等の会議の開催日を明らかにする必要があり、依頼文書にも着日を記載させていただきます。しかし、各委員様で郵送日数を調べるというお手数をおかけすることもたいへん心苦しく、こちらで送付先住所を参考に郵送日数を調査し、「投函の目安」も合わせて記載するようにいたします。</p>
<p>コロナ禍において、運用要領の改正は、必要かつ適切なものと考えます。</p>	

【議事1】 子ども・子育て支援会議の運用要領の改正

議 事

【議事2】高知市子ども・子育て支援事業計画の今後の取組状況に対する評価

（第2期 令和2年度～令和6年度 令和3年度報告）

第2期高知市子ども・子育て支援事業計画に基づき各種施策を実施した。そのうち高知市にとって重要度の高い5つの重点施策の今後の取組みについて、施策毎に5段階で評価願います。また、今後の取組みに反映させるため、ご意見をお聞かせください。

採決等

各委員からの意見は次のとおり

重点施策① 「妊娠期からの切れ目のない支援」 評価（平均 4.0）

議事に対する意見等	質問に対する事務局の回答や補足
地域子育て支援拠点事業において、児童登録数は減っているが、子育て相談対応件数は増大している。子育てについて相談する人が身近にいない方がこの事業を活用していると思われる。子育てが始まる早い時期から、身近に子育ての支援をする場があることを理解しておいてもらうことが重要であると考え。コロナ禍では、感染対策を確実にいき、保護者が安心して子育てに向かうことができる体制作りが望まれる。	
子育て世代包括支援センターでの全妊婦面接、産婦検診等、地道な努力と取組みの効果が出ていることを評価する。産婦検診で継続支援不要となった方に対しても、困ったときの相談場所があるということが、今後の子育てのバックグラウンドになることも期待したい。	

【議事2】高知市子ども・子育て支援事業計画の今後の取組状況に対する評価

議事に対する意見等	質問に対する事務局の回答や補足
<p>支援センターの設置や要員の配置など、ハード面では整備されており、様々な事業を展開しているので、それが利用者に十分周知し理解され、より多くの方に利用してもらえるよう、コロナが収束した後は利用者が大幅に増えるよう啓発活動を行ってください。</p>	
<p>介入が必要な産婦への支援を、どう行い、充実させていくかが重要だと思います。横断的な機関連携をどう構築していくか。</p>	
<p>コロナ禍により、従来の直接対面による支援が困難な状況にあると想像します。妊産婦や子育て者の孤立化が起らないよう、支援体制の工夫及び強化を図っていく必要があると思います。</p>	
<p>産婦健診受診率が2週間92.8%、1ヶ月92.4%と高いのは良い。 妊娠中から対応している妊婦も捉えられている。適切な対応ができるように、職員の研修や事例の検討をしっかりとって頂きたい。</p>	
<p>母子保健コーディネーターの配置増や、母子健康手帳交付時の面接率向上は評価できる。 さらに、産婦健診の助成が令和2年10月から開始される事については、特にコロナ禍において家庭や母親の孤立化の危険がさげられる中、切れ目ない支援での効果が非常に期待される。今後は、さらに受診率が向上するように、周知だけではなく積極的な強化が期待される。</p>	
<p>年々少子化が進むなか、一人でも多くの母子がよりよい形で子育てができるよう、今でも“妊娠は病気ではないから…”といわれるような社会では現状を変えられないので、長期的な取組みが必要だと考えます。</p>	
<p>コロナ禍で、検診などをためらうお母さん、相談する人にも会いにくい状況下で、オンラインなどでつなげるツールがあっても、直接の面会と画面越しの面会では、ストレスになる状況なのではないかと思います。子育て中のお母さんやお父さんと赤ちゃんが、心と体も元気に過ごせる為にも支援は必要です。人員も限られていて、コロナなどでいろいろ制限もあり、とても大変と思いますが、これからも高知市の子どもたちの未来のために、どうぞ頑張ってください。</p>	

重点施策② 「より質の高い教育・保育の推進」 ☆評価（平均）3.8

議事に対する意見等	質問に対する事務局の回答や補足
<p>質の高い教育・保育を進めていくためには、研修が不可欠である。コロナ禍で研修の仕方について、検討や工夫が必要であると思う。高知市には公立だけでなく民営の保育所も多くあるので、民営の保育所への研修について考えて頂きたい。小学校との連携を進めていくためには、「保育所保育指針」に示している内容を、子ども達に身に付けておくことが、望まれる。</p>	<p>【保育幼稚園課補足】</p> <p>資料2・P20の部分の表現について、（公）の表記のない研修は全て民営保育所・認定こども園・認可外保育施設等を対象としています。</p> <p>民営保育所等の教育・保育の質の向上には課題もあり、「保育所保育指針」等の内容にそった教育・保育をすすめていけるよう研修や園訪問を通して指導助言しております。なお、今後も継続的に取り組んでまいります。</p>
<p>新型コロナウイルス感染防止対策や対応にあたり、教育・保育の現場はさらに煩雑さを増している。各種研修等に職員が参加しやすい環境整備の継続とともに、職員研修での取組み成果を生かしつつ、オンラインも活用し外部との成果共有など工夫が必要。</p> <p>問 実施状況等確認表の10ページ 子育て相談支援員（非常勤特別職）とあるが、会計年度任用職員と別枠の雇用か？</p>	<p>（質問抜粋）</p> <p>実施状況等確認表の10ページ 子育て相談支援員（非常勤特別職）とあるが、会計年度任用職員と別枠の雇用か？</p> <p>【保育幼稚園課回答】</p> <p>令和2年度に会計年度任用職員の制度がスタートした際に非常勤特別職から会計年度任用職員に変更しています。情報の更新ができておらず大変申し訳ありませんでした。</p>
<p>保・幼・小連携について、特に小学校によって取り組む姿勢の濃淡がはっきり違いすぎるように感じる。（勿論均一にはいかないが・・・）校長会等で検討していただきたい。</p>	

【議事2】高知市子ども・子育て支援事業計画の今後の取組状況に対する評価

議事に対する意見等	質問に対する事務局の回答や補足
<p>子供たちが、安全・安心して人間的にも成長していく場でもあるので、その場で保育や教育にあたる職員の人間性がとても大事と考えます。職員の研修では、専門性や技術の向上ももちろん大切ですが、子供たちの手本となる職員が、違反や犯罪をすることの無いよう、職員の人間性を磨く研修もたくさん取り入れて実施してほしいと思います。</p>	
<p>学校では就学前との連携の重要性が認識されています。特に支援を必要とする児童、保護者について連携を図ることで良いスタートを切ることができ、トラブルの回避・解決に役立っています。一層の充実を図ることが大事だと思います。</p>	
<p>保育現場における教育・保育の質的向上が実現されるためには、研修内容が浸透して実践化に至らなければならないと考えます。研修内容の実践化状況は、調査等で把握されているでしょうか？もし、実践化が進んでいない園等がある場合には、どのような支援・指導が施されているでしょうか？</p>	<p>(質問抜粋)</p> <p>研修内容の実践化状況は、調査等で把握されているでしょうか？もし、実践化が進んでいない園等がある場合には、どのような支援・指導が施されているでしょうか？</p> <p>【保育幼稚園課回答】</p> <p>ご指摘のとおり、実践に活かさせてこそ研修受講の意味があります。アンケート調査は行っておりませんが、課の職員や子ども・子育て相談支援員による園訪問の際に保育を見せていただき、不十分な点がある場合は具体的な方法を示しながら指導助言しております。</p>

議事に対する意見等	質問に対する事務局の回答や補足
<p>園内研修（公開保育）も大切だが、日頃から各園内で情報を共有し、先輩が後輩を指導でき、後輩が先輩に質問できる保育園であってほしい。子どもを育てるのは、大人であり共にいる子どもなので、保育士が成長する場を確保してください。巡回して助言するようなベテラン保育士の体制などはありますか。</p>	<p>（質問抜粋） 巡回して助言するようなベテラン保育士の体制などはありますか。</p> <p>【保育幼稚園課回答】 保育幼稚園課には、元公立園長経験者の子ども・子育て相談支援員や保育現場で十分な経験のある保育士が配置されており、園訪問等では園職員との信頼関係を築きながら、前向きに保育に向き合うことができるようあたたかい助言を心がけています。</p>
<p>保幼小の連携と実施率は非常に良くできていると考える。 研修において、コロナ禍でやりにくい状況の中、工夫して取り組んでくれ、頭が下がる思いである。 今後は、この取組みによっての効果の見える化をしていければ、新しい問題点や課題が抽出され、この取組みがステップアップすると考えられる。</p>	
<p>保・小・中と連携ができることを望みます。 保育の質の確保には、職員の資質もそうですが、職員自身の休息等の確保も必要だと思われま す。研修等でそれが十分にとれないようであれば、研修も見直したほうがよいと思います。</p>	

【議事2】高知市子ども・子育て支援事業計画の今後の取組状況に対する評価

議事に対する意見等	質問に対する事務局の回答や補足
<p>保育所，幼稚園，認定こども園と小学校との連携の目標が達成できてきた事は，とても喜ばしい事です。しかしながら，「コロナ感染拡大」も，あと少しで終息と思いきや，オミクロン株は子どもたちに感染が広がり，園休園が繰り返されているという状況です。</p> <p>「withコロナ」の新しい教育の形が必要になってくるのかもしれませんが，そして，いろいろな状況に対応する為にも，保育士や先生の数が増える事が大事だと思います。子どもの頃になりたい職業が，保育園，幼稚園の先生だったのに，いざなってみると嫌になった，なんて事も多いと聞きます。せっかく取得した免許がずっと続けて更新され，新たに子どもたちにあこがれてもらうようになるくらい，園児だけでなく先生方にも，働きやすく楽しい環境の実現を！と希望します。</p>	
<p>保・幼・小の連携・接続の際に，「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」は，到達目標でないことを，保・幼・小の先生が再認識するように，周知並びに研修を徹底して欲しい。</p>	

重点施策③ 「地域ぐるみの見守り・子育て支援体制の充実」 ☆評価（平均）3.8

議事に対する意見等	質問に対する事務局の回答や補足
<p>保育の支援者がなかなか見つからないことや、ファミリー・サポート・センター事業の会員数の減少傾向がみられている。仕事と育児が両立しやすい環境づくりに、子育て支援に関わる就職の視点も必要ではないだろうか。地域の特色を踏まえて、地域でできる支援について検討する必要があるのではないだろうか。</p>	
<p>長引く新型コロナウイルス感染対策のため、生活や対人交流等が制限されるなか、孤立に対し支援が途切れないように対応していることを評価。</p> <p>また、令和3年度からの、子育て広場への妊婦の対象拡大、子育て世代包括支援センターの活用、児童家庭相談の心理士の全地区対応体制変更などに期待する。</p>	
<p>サークルやボランティア活動が、コロナにより停滞しているのはいたしかたないが、収束後直ちに再開できる体制づくりが望まれる。</p>	
<p>ハード面は整備が進んでいますので、その設備や支援施策を効果的に活用するため、地域の子育てサークルなどとの連携を強化するなど、民間の知恵・活力も多いに利用して取り組んでください。</p>	
<p>新型コロナウイルスの感染拡大によって、最も大きな影響が出ていると思います。地域住民同士、子どもと地域各種団体、家庭と地域、機関をつなぐ新たな取組みも必要だと思います。今は、コロナ後のつながりを切らないことに力を注いでいます。</p>	

議事に対する意見等	質問に対する事務局の回答や補足
<p>コロナ禍における生活スタイルは、孤立化を促進する強い誘因にもなっていると思います。孤立化を防ぐ対策を通常以上に講じていく必要があると考えます。</p>	
<p>地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）では多様な事業に取り組まれているが、子育て世代包括支援センターとの連携が気になります。これらは、今後統合されて子ども家庭庁が所管する「子ども家庭支援センター」となるようですが、その前からしっかり連携してやってください。</p> <p>これらの事業は「こうちし子育てガイドばむ」に記載されていて、分かりやすいと思いました。困ったときは「ばむ」を読むといいですね。</p>	
<p>コロナ禍において、家庭や母親の孤立化の歯止めの最前線の取組みであり、利用数・設置個所は順調で評価できる。</p> <p>今後は、更なるコロナ対策とその周知をして、利用数を伸ばして頂きたい。</p>	
<p>ここ数年、同じような取組みが継続して行われているが、コロナ以降できない取組みも多くなっているように思います。</p> <p>対面でなくてもできる支援方法も考えるべきではないでしょうか？</p> <p>情報発信もSNSが主流となる中、今の発信だけでは十分に認識されていないようにも思われます。</p>	
<p>重点施策③および④について</p> <p>2つの課題とも、地域住民等の協力無しには、効果の上がない課題だと思う。</p> <p>地域活動の中心になるのが、児童委員・主任児童委員であると思われる。</p> <p>児童委員は民生委員を兼務していることから、高齢者への仕事が多くなり、民生委員としての業務が多忙になっていることと、児童問題は業務の内容が解りづらいことなどが在り、子ども問題への関わりが少ないように思われる。</p> <p>児童委員に積極的に児童問題に関わって頂く為に、研修等を計画的に実施して、児童問題への関りの大切さ等を学んでいただく必要があると考えられる。</p>	

議事に対する意見等	質問に対する事務局の回答や補足
<p>「子育てしやすい環境の整備」の施策と事業支援を、どれだけの人が知っているのだろうと考えています。公園の整備がされる事で、新しい公園にはたくさんの親子、年配の方、学生が集まっている様子が伺えます。特にコロナ禍で、室内より外で、という事などから、新しいコミュニケーションも生まれるのではと感じます。</p> <p>「子育てしやすい環境」の施策を知る事で、困っている人が相談しやすい支援をしてもらえる（利用できる）ようになってほしいです。そして、この施策が続いていく様に、市民全体で公園を大切に利用する、交通安全のマナーを守る、地域の活動に参加するなど、地域の状況を知り、助け合う人が増えてくると孤立化も防げるのではないかと思います。</p>	
<p>見守りや相談、支援に偏ることなく、子育てが楽しくなる活動を支援センターで推進して欲しい。そして、楽しい活動の周知が行き渡り、大勢の参加とリピーターが増すような広報をお願いしたい。「楽しい！また参加しよう！」の活動が、ワンオペ子育て、孤立化を防ぐと考えます。</p>	

【議事2】高知市子ども・子育て支援事業計画の今後の取組状況に対する評価

重点施策③ 「地域ぐるみの見守り・子育て支援体制の充実」

重点施策④ 「児童虐待の発生予防」 ☆評価（平均）3.9

議事に対する意見等	質問に対する事務局の回答や補足
<p>児童虐待は、多様な要因が絡まり合っていて発生していると思われる。妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援をしていくためには、保健・医療・福祉等の関連機関だけでなく、教育や地域等との連携も考えていく必要であると思われる。</p>	
<p>特別支援担当者研修に加え全職員対象研修、特に特別支援加配対象児童の保護者学習会の開催を評価する。加配対象児童の保護者同士が安心して情報共有や意見交換を行える場が必要。</p> <p>乳幼児家庭全戸訪問事業の消極的または否定的な家庭への導入の仕方については、引き続き工夫をお願いしたい。</p> <p>スポットのあたっているヤングケアラーについて、対応や連携が増えていくことが考えられるため、人員確保や周知・研修が必要。</p>	
<p>親による子供への虐待や殺人に至る悲惨なニュースを度々見かけます。保健・医療・福祉などの関係機関による子育ての支援にとどまらず、警察など司法の力もどんどん介入させて、悲惨な事件を未然に防ぐことはできなかったのかと、事件の度に考えさせられます。高知県では子供達が、身勝手な大人（親）のせいで犠牲になることがないよう、民事の壁もあって大変でしょうけど、より効果的な取り組みをお願いします。</p>	

【議事2】高知市子ども・子育て支援事業計画の今後の取組状況に対する評価

議事に対する意見等	質問に対する事務局の回答や補足
<p>児童虐待の発生防止は、現在の機関を横断する連携を強化することが重要だと思います。一方、ケース管理している事例や、新規で虐待の恐れがあるとして情報が寄せられた事例の対応の、迅速化と緻密な連携が必要だと思います。</p> <p>対応中の事例の情報共有・管理の在り方の改善は図れないものでしょうか。</p> <p>ヤングケアラーの可能性のある事例の把握とサポート、支援のあり方を、医療、福祉の担当課を中心に構築する必要がある。積極的な介入がなければ支援が困難な事例が多いと思われる。</p>	
<p>この事項に関する悲惨な事件の報道に触れる機会が多くなっています。本市において、そのような事件が起こらないように、施策の強化を一層図っていくことが重要と考えます。</p>	
<p>P49に記載されているように、養育支援訪問事業は家庭の同意が必要とのことなので、要保護児童も含めてメリハリをつけて対応していただきたい。ここでも対応する職員へのスキルアップの継続、困っている職員への支援、相談できる体制をしっかりと構築して下さい。</p>	<p>【補足】 P49の記載箇所 ④－5 内部評価説明 より抜粋 ◆養育支援訪問事業は、家庭の同意に基づいて実施されるものであることから、消極的又は拒否的な家庭への導入の仕方について引き続き工夫が必要である。</p>
<p>妊娠期からの支援や不安や孤立感を抱える家庭への家庭訪問・アドバイスの取組状況については、虐待予防に効果的で評価できる。</p> <p>今後は、この取組みの効果の分析と課題の抽出を行い、より良い児童虐待の発生防止に繋げて行くことをお願いしたい。</p>	
<p>どの施策でも、コロナ禍に対応できていない部分を感じます。現状、児童虐待は減っていないし、今後も増加傾向にあるといわれる世論も多く聞きます。何故なくなるのかを考え、見直しや新しい施策が必要だと考えます。</p>	

【議事2】高知市子ども・子育て支援事業計画の今後の取組状況に対する評価

議事に対する意見等	質問に対する事務局の回答や補足
<p>重点施策③および④について</p> <p>2つの課題とも、地域住民等の協力無しには、効果の上がない課題だと思う。</p> <p>地域活動の中心になるのが、児童委員・主任児童委員であると思われる。</p> <p>児童委員は民生委員を兼務していることから、高齢者への仕事が多くなり、民生委員としての業務が多忙になっている事と、児童問題は業務の内容が解りづらいことなどが在り子ども問題への関りが少ないように思われる。</p> <p>児童委員に積極的に児童問題に関わって頂くために、研修等を計画的に実施して、児童問題への関りの大切さ等を学んでいただく必要があると考えられる。</p>	
<p>コロナ禍で、虐待などのニュースも多く聞く事もあり、悲しい思いがします。親も子もストレスが多くなり、家の中で、缶詰め状態なので、増々厳しい心境で暮らしているのではと考えてしまいます。お互い（親子が）悩みながらも相談できない事もあると思うので、やはり虐待を防ぐためには重点施策③・地域ぐるみの見守りが必要と思います。各支援機関の人員も相談を受けるだけでも心が痛んでしまう事もあると思います。相談人員の心情を大切に増員も必要と思います。</p>	

施策⑤ 「障害などの特別な支援を必要とする子どもへの支援の充実」 ☆評価（平均）4.0

議事に対する意見等	質問に対する事務局の回答や補足
<p>支援の必要な子どもが、必要な支援を継続的に受けて行くためには、サポートファイルは必要不可欠である。サポートファイルの所持の有無を確実に把握すると共に、サポートファイル所持率を100%にすることは急務と考える。</p>	
<p>サポートファイルの活用については以前から課題となっていたが、「必要な部分だけコピーして支援者に渡す」、などが対策になるかどうかは分からないが、今後も時代に応じた活用の仕方を工夫していく必要あり。</p>	
<p>サポートファイルの所持率が50%未満というのは、内部評価や取組みでも記載されているように、十分に活用できない理由があるのは間違いないと思われます。一貫した支援で重要なツールとして位置付けるのであれば、利用者の声を十分取り入れて改善して欲しいと思います。</p>	
<p>特別な支援を必要とする子どもへの支援を充実させることは、全ての子どもへの支援につながる重要なことです。教職員の世代交代が急速に進む中、専門性の高い教員を育てることが大きな課題になっています。教員の配置は県が行うため、県の機関横断的な意識を高めることが必要だと思います。</p>	
<p>サポートファイルの活用が保護者の負担増になっていることが、所持率向上の妨げになっている可能性があると思います。お薬手帳のデジタル化が進んでいるように、サポートファイルのデジタル化を図ることの検討をお願いします。</p>	

議事に対する意見等	質問に対する事務局の回答や補足
<p>1歳6ヶ月と3歳健診での有所見者の流れ（人数・率等）について情報をいただきたい。これらの児は保育所や幼稚園での実際の過ごし方を訪問して見ているのか、そこで保護者と話し合えているのか？</p>	<p>【母子保健課回答】 1歳6ヶ月と3歳健診での有所見者ですが、身体について、それぞれ254人で12.3%、456人の20.9%です。必要時、園訪問を行い、保護者と情報共有しています。</p> <p>（質問（追加）） 身体についてのみの有所見者なのでしょうか。</p> <p>【母子保健課回答】 はい。令和2年度の精神面の診察結果は 1歳6か月健診 423人 20.5% 3歳健診 666人 30.7% になります。</p> <p>（質問（追加）） 必要時、園訪問を行い…とあります。必要時でよいのですが、園訪問する場合と園に電話するなどして問題ない場合は、どのくらいの件数になっているのでしょうか。</p> <p>【母子保健課回答】 園訪問のフォローの結果ですが、訪問及び電話対応で終了となった件数については集計できていません。令和2年度の健診後園訪問方針の件数は 1歳6か月健診 27件 3歳健診 96件 になります。</p>

議事に対する意見等	質問に対する事務局の回答や補足
<p>サポートファイルについて 現状の所持率に対して、実際に使用している保護者が少なく高知市が想定しているサポートファイルの使用方法を、保護者をはじめ、各関係機関に周知していくことが必要と感じます。</p>	
<p>サポートファイルの所持率が伸び悩んでいることについて、もう少し原因を追及して対策を立てないといけないのでは？ その他の実施状況は、積極的で概ね評価できる。</p>	
<p>私の息子もADHDで、小学校の先生方に相談してわかりました。こうした支援のおかげで、今は学校にも毎日通学できています。ただ、まだまだ認知度としては低く、先生方も保護者にもいえず、わからないまま義務教育を終える子供もたくさんいます。低年齢のうちからサポートできるような施策を希望します。</p>	
<p>サポートファイルは、単に大きさを変えたりするだけではダメなら、これからはデジタル化していく案もあると思います。障害の子をもつ親のストレスもあると思うので、それを軽減してあげられる周りのサポートもある様な高知市になるといいです。</p>	
<p>早期発見、早期療育と共に「失った機能を数えるのではなく、残された機能を最大限に生かせる（パラスポーツの根幹の考え方）」のような情報提供にも務めて欲しい。今現在の療育を大切にすることと同様に、将来の展望につながる情報提供ができ、行動目標、人生目標につながる施策を推進してほしい。</p>	

【議事2】高知市子ども・子育て支援事業計画の今後の取組状況に対する評価

施策⑤ 「障害などの特別な支援を必要とする子どもへの支援の充実」